

令和6年度（令和5年度分）
教育に関する事務の管理及び執行の状況
点検・評価結果報告書

令和6年8月
玖珠町教育委員会

目 次

1	点検・評価の概要	・・・・・・・・P 1
2	令和5年度玖珠町教育委員会の重点方針	・・・・・・・・P 3
3	点検・評価一覧	・・・・・・・・P 12
4	事務管理の執行状況点検・評価基準	・・・・・・・・P 13
5	点検・評価調書の説明	・・・・・・・・P 14
6	事務管理の執行状況点検・評価調書	・・・・・・・・P 16

1. 点検評価制度の概要

(1) 経緯

平成18年12月に教育基本法が全部改正され、これに続き地方教育行政の組織及び運営に関する法律も、平成19年6月にその一部が改正され、平成20年4月から施行されました。

この法律の改正により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し公表することが義務付けられました。

(2) 目的

事務の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

(3) 評価等の対象

評価等の対象は、毎年度策定している玖珠町教育行政の重点方針であり、各方針の具体的取組に目標指標を設け、達成率から総合的に令和5年度分の事務の管理及び執行状況について点検・評価したものです。

(4) 評価の方法について

重点方針の具体的な取組に目標指標を設け、客観的に事業の達成度が分かるようにしています。複数の具体的な取組の達成度を総合的に判断し、教育委員会の「自己評価」及び事務・点検評価委員会が行う「総合評価」で評価を行っています。

(5) 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、玖珠町教育委員会事務・点検評価委員会として3名の委員が専任されています。

○委員

委員長	秦	亜紀氏
	梶原	千秋氏
	森	初美氏

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項に規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和5年度玖珠町教育行政の重点方針

令和5年4月

玖珠町教育委員会

令和5年度玖珠町教育行政の重点方針

教育行政の基調

『子どもたちに未来へのバトンを渡すために』

～ 少子・人口減少社会において地方創生を視野に入れた地域の活力を生み出す教育施策 ～

現在の地域社会は、少子高齢化に伴う人口減少や過疎化が進展する一方で、グローバル化、核家族化、価値観の多様化が顕著であり、情報通信技術の進歩とSNSの普及など、急速に変化する生活環境において様々な影響を受けています。また、GIGAスクール構想における一人一台端末の利活用が推進される昨今、コロナ禍でのオンライン授業やデジタル教材の普及など、学校現場における子どもたちの学習環境は大きく変化しています。

さらに、子どもたちの規範意識や道徳心の醸成、地域や保護者の人との繋がりの希薄化が危惧されるなど、教育現場のみならず家庭教育や地域教育のあり方も見直されています。そのため、「地域とともにある学校づくり」を目指し、教職員の働き方改革を進めながら、地域と連携した教育活動の実践が求められています。

玖珠町第6次総合計画では「次代を担う子どもとともに 未来をつくるまち」という基本理念を掲げています。子どもたちの「心の豊かさ」や「生きる力」を育む学校教育とともに、住民一人一人が生きがいや思いやりを持った「活力ある共生社会」の実現に向けて、主体的に学び続ける生涯学習の視点が重要であることから、学校教育と社会教育が連携して実践活動に取り組みます。

玖珠町教育委員会では、これら教育行政の目指すべき方向性を示すため、課題や具体的な取組を明らかにし、毎年度重点方針を定め事業施策を推進します。

最後に玖珠町のまちづくりのテーマである「童話の里づくり」は、久留島武彦の教育精神を継承した『人材育成』が礎となっています。人が生涯にわたって学び、生き生きと暮らすために、教育の果たす役割はきわめて重要であることから、教育行政、学校、家庭、及び地域がそれぞれ協働しながら地域の「童話の里づくり」に繋げていくことを基本とします。

今年度の重点方針

I 学校教育

1. 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
2. 特別支援教育の充実
3. 不登校児童生徒の教育環境の整備
4. 地域とともにある学校づくりの推進
5. 組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上
6. 学校における働き方改革の推進
7. 学校間・校種間のきめ細やかな連携
8. 地域の高校への支援と玖珠志学塾の充実
9. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備
10. 安全・安心な学校づくり
11. ICTを活用した教育の推進
12. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

II 社会教育

1. 地域教育力の向上
2. 子どもと大人 家庭と地域での教育
3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
4. 久留島武彦精神を継承する取組の充実
5. 文化の創造と振興
6. 地域にある文化財の保存と活用の推進
7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

III 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実
2. あらゆる場における人権教育の推進

I 学校教育

「自分が好き、学校が好き、玖珠が好き」と言える子どもの育成をめざし、本年度5つの視点に沿った、12の重点方針による学校教育施策を行います。

- 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
- 一人一人のニーズに応じた教育の充実
- 家庭・地域に信頼され、協働して子どもを育む学校教育の推進
- 学校間・校種間のきめ細やかな連携
- 安全・安心な教育環境の確保

1. 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成

「第5次玖珠町学力向上推進計画」に基づき、確かな学力の定着・向上、豊かな人間性の育成及び心身の健康と体力の向上を図ります。

- ①各種テスト結果を基にした、個別最適化された指導の推進
- ②体験的参加型授業・体験活動の充実
- ③日常的な体力づくりの充実
- ④副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の推進
- ⑤栄養教諭を活用した食に関する指導の充実

2. 特別支援教育の充実

支援を要する児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的自立に必要な力を養うため、就学前から関係団体との連携を図ります。

- ①個別の指導計画の作成と活用の推進
- ②特別支援教育支援員の活用
- ③インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）

3. 不登校児童生徒の教育環境の整備

多様な背景を持つ不登校児童生徒の個々に応じた教育機会の確保のため、新たな教育環境の整備等に向け、調査研究を行います。

- ①わかくさの広場と学校の連携によるサポート体制の強化
- ②個々に応じた新たな教育環境の調査研究

4. 地域とともにある学校づくりの推進

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を活用し、保護者・地域住民の学校経営への参画を促し、家庭・地域に信頼される「地域とともにある学校づくり」を推進します。

- ①積極的な情報発信
- ②地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
- ③地域学校協働本部（協育コーディネーター）との連携

5. 組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上

学校の教育目標達成に向けて組織的に取り組む学校運営体制を確立するとともに、互見授業や校内研修の充実、研究推進校の指定及び学校訪問等を通して、教職員の資質・能力の向上を図ります。

- ①校内研修をはじめとする各校教職員間の効果的な研修(OJT)の充実
- ②教職員への郷土を学ぶ研修の実施

6. 学校における働き方改革の推進

教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を推進します。

- ①ICTを活用した日常における業務改善の取組
- ②部活動の地域移行の推進

7. 学校間・校種間のきめ細やかな連携

小学校とくす星翔中学校が連携し、中1ギャップ解消をはじめスムーズな中学校生活が送れるよう取り組みます。

また、くす星翔中学校と玖珠美山高校との連携、玖珠町内こども園、幼児教育施設及び小学校との連携が円滑に進められる仕組みづくりに取り組みます。

- ①校種間連携組織の構築および日常的な情報共有体制の確立

8. 地域の高校への支援と玖珠志学塾の充実

地域唯一の高校である県立玖珠美山高校の存続に向けた支援を行うとともに、同校生徒の進路達成に向けた支援に取り組みます。

- ①公営塾と学校との連携による進路の充実
- ②郡外等から就学する生徒への下宿助成

9. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備

「玖珠町幼児教育振興プログラム」に基づき、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を小学校、幼稚園、こども園と共有し、就学前教育の質の向上と充実を図ります。また、地域の実態をふまえた教育環境の整備に努めます。

- ①就学前教育と義務教育の虹いろの架け橋協議会における調査・審議
- ②幼小架け橋期カリキュラムの検討・開発
- ③関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援

10. 安全・安心な学校づくり

生活安全（防犯）、交通安全、災害安全（防災）の3つの領域それぞれにおいて、児童生徒の安全確保に向け、安全・安心な学校づくりに取り組みます。

- ①危機管理マニュアルの見直しと研修
- ②通学路安全点検による危険個所の解消
- ③施設・設備の安全点検の徹底及び整備

11. ICTを活用した教育の推進

文部科学省の推進するGIGAスクール構想において示されている「一人一人の能力や個性に応じて個別最適化された学び」の実現に向けて、教職員の研修及び学習環境の整備充実に取り組みます。

- ①ICTを活用した授業の充実
- ②児童生徒の情報活用能力の向上
- ③家庭学習での通信端末の活用

12. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

玖珠町で採れる新鮮で安全・安心な米や野菜などの食材を積極的に活用しながら、地域の農と食文化の素晴らしさを知り、郷土愛を育む取組を進めます。また、学校給食センターの施設整備により調理能力及び衛生管理を補強し、安全・安心で美味しい給食の提供に努めます。

- ①郷土愛を育む地産地消の推進
- ②新鮮で安全・安心な食材確保
- ③調理施設・設備・備品等の計画的な整備
- ④調理業務の民間委託の調整

Ⅱ 社会教育

社会教育基本計画（令和3年度から令和7年度まで）の3つの基本目標による7つの重点方針により、本年度の社会教育施策を実施します。

【社会教育基本計画 基本目標】

- 人づくり 生きがいを育む社会教育の推進
- 体づくり 心と体の調和を図る社会体育の充実
- 心づくり 郷土の文化・歴史の学習、芸術創造力の育成

1. 地域教育力の向上

地域づくりの中核となる大人自身が、地域の課題を認識し、生涯学習に対する意識を高めることで、地域づくりに参画・協働する意義を醸成して行きます。

主催講座や町内外で行われる各種講座に対して参加要請や情報提供を行い、教育力を高めて行きます。

また、子どもたちと共に学び世代間の繋がりを持つことで、子どもたちが大人になってからも地域を発展させる力となる取組を行います。

- ①主催講座の開催
- ②学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
- ③世代に応じた各種学習活動の支援

2. 子どもと大人 家庭と地域での教育

家庭や地域での学びは、人間形成の基礎を養う大切な役割を担っています。学習機会の充実を図ることにより各家庭の教育力の向上に繋げるとともに、子どもたちには、地域での交流や体験を通じた活動で、学び・考え・行動するといった人格を養う環境づくりをしなければなりません。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）などと連動して、子どもの健全育成のために、家庭・地域・学校の連携を図ります。

- ①青少年健全育成協議会への支援
- ②家庭教育に関する事業の実施

3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進

心身ともに健康で充実した毎日を過ごすためには、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことが重要です。

活動団体及び指導者の育成及び競技力向上の支援、体力向上・健康増進に関する情報や学習機会の提供をします。

- ①スポーツ団体、サークル活動の充実
- ②住民参加型のスポーツイベントの実施

4. 久留島武彦精神を継承する取組の充実

「童話の里」の根幹をなす日本のアンデルセン・久留島武彦の偉業やその精神を後世に伝えるための取組を充実します。

久留島武彦の幅広いネットワークを活かせるような企画を試み、久留島武彦記念館を通じた調査・研究の成果を町民と共有することで、半世紀以上の歴史を誇る「童話の里」づくりのさらなる発展を目指すとともに、児童文化の担い手となる団体等への支援・育成を行います。

- ①日本童話祭の開催
- ②久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催
- ③久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催
- ④久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催
- ⑤小中学校をはじめとする久留島学習等の場の提供
- ⑥久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信
- ⑦わらべサークル協議会への支援及び児童文化の担い手の育成

5. 文化の創造と振興

文化芸術の振興は、「童話の里」づくりにとって重要な取組です。すぐれた文化芸術に触れる機会を充実させ、文化の薫る豊かな町を目指し、親しめる環境づくりを行います。

- ①巡回音楽会の開催
- ②文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催
- ③久留島武彦記念館による企画展の開催
- ④文化芸術に触れる機会の提供
- ⑤自主文化芸術活動への支援

6. 地域にある文化財の保存と活用の推進

地域にある文化財を活用した郷土教育並びに地域の歴史文化を学ぶ場の提供が必要です。このことから、文化財の保護（保存・活用）と保存整備に取り組み、町内の小中学校への出前授業をはじめ地域づくりにつながる活動を行っていきます。

- ①文化財保護（保存・活用）の推進
- ②国指定文化財等の保存整備
- ③各小中学校の郷土教育の支援

7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

あらゆる年代に生涯学習を保障するため、既存施設を活用した図書館サービス網を充実させるとともに今後の図書館サービスのあり方について関係各所と連携・協議を深めます。

- ①わらべの館の図書の実質
- ②中央公民館図書室の実質と利用者の拡大
- ③わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携
- ④わらべの館移動図書館車の活用

Ⅲ 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実

玖珠町人権施策基本計画に伴う実施計画に基づいて、教育活動全体を通して意図的・計画的に人権教育を推進します。また、人権教育推進校の指定による研究成果の共有、人権に係る研修会への積極的な参加等によって、教職員の資質の向上を図り、人権教育の充実を目指します。

- ①児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
- ②部落差別解消に向けた教職員研修の実施

2. あらゆる場における人権教育の推進

「玖珠町人権施策基本計画」を基調に、わが国固有の人権問題である部落差別問題をはじめ、女性や子ども・高齢者・障がい者・外国人・医療など様々な人権課題について正しく理解し、その解決に向けた意欲と実践力を持った町民を育成することが重要です。あらゆる場において、学習機会の提供を人権確立・部落差別解消推進課と連携して進めます。

- ①玖珠町人権公開講座の開催
- ②広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
- ③部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価一覧

令和5年度 重点施策		担当	頁	自己評価	総合評価
I 学校教育					
1	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成	学務・指導班	16	C	B
2	特別支援教育の充実	学務・指導班	18	C	C
3	不登校児童生徒の教育環境の整備	学務・指導班	20	C	C
4	地域とともにある学校づくりの推進	学務・指導班	21	A	A
5	組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上	学務・指導班	23	B	A
6	学校における働き方改革の推進	学務・指導班	24	D	D
7	学校間・校種間のきめ細やかな連携	学務・指導班	25	D	D
8	地域の高校への支援と玖珠志学塾の充実	教育政策班	26	B	B
9	就学前教育の質の向上と教育環境の整備	幼児教育推進班	27	A	A
10	安全・安心な学校づくり	学務・指導班 教育政策班	29	A	A
11	ICTを活用した教育の推進	GIGAスクール推進室	31	A	A
12	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進	給食センター	32	B	B
II 社会教育に関すること					
1	地域教育力の向上	社会教育班 公民館班	34	B	B
2	子どもと大人 家庭と地域での教育	社会教育班	36	B	B
3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進	社会教育班	38	C	C
4	久留島武彦精神を継承する取組の充実	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館	39	A	A
5	文化の創造と振興	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館	42	A	A
6	地域にある文化財の保存と活用の推進	社会教育班	44	B	B
7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実	公民館班 わらべの館	46	A	A
III 人権教育					
1	学校教育における人権教育の充実	学務・指導班	48	A	A
2	あらゆる場における人権教育の推進	社会教育班	49	A	B

事務管理の執行状況点検・評価の基準

達成率・達成度について

各方針の具体的取組に目標指標を設け、それに対する実績値から達成率を算定し、達成度としています。

達成度	達成度の目安
◎	達成率100%以上
○	達成率100%未満80%以上
△	達成率80%未満60%以上
×	達成率60%未満

自己評価・総合評価について

教育委員会評価を「自己評価」、事務評価部会委員評価を「総合評価」とし、重点方針の主要事業を総合的に評価したものとしています。

評価ランク	目標に対する達成度合い
A	「十分成果が上がっている。」
B	「成果がみえる」
C	「成果がみられるが、更なる取り組みを要する」
D	「改善を必要とする」
E	「抜本的見直しが必要」

事務の点検・評価調書説明

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	1	学校教育	担当所属	教育政策班 学務・指導班
中項目（方針）	1	確かな学力の定着向上		

説明：玖珠町教育行政の重点方針の大項目（学校教育、社会教育、人権教育）、大項目下の中項目（令和5年度方針21項目：学校教育12、社会教育7、人権教育2）を記入しています。

1 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	①教育環境の整備 ②基礎学力の定着と向上
前年度点検・評価 で整理した課題	①・・・・・・を改善する ②・・・・・・を重点的に行う。

説明：主要事業は、玖珠町教育行政の重点方針の小項目を記入しています。それに対して、整理した課題等を記入しています。主要事業①＝課題①（※今後丸数字は、すべて主要事業にリンクしています）

2 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：主要事業の中で、実施した取組を箇条書きにしています。

3 目標指標の設定 【実行】

目標指標	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
①・・・・・・	台	1050	・・・・・・
②・・・・・・	%	100	・・・・・・

説明：4で目標数値の達成度から評価を行うが、目標数値の設定根拠について記入しています。

4 目標指標の達成度【評価】

目標指標	単位	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a	達成度	自己評価	総合評価	
①	台	1050	1050	100	◎	B	C	
②	小	%	100	100.5	100.5			◎
	中	%	100	95.3	95.3			○

説明：目標数値に対して、実績値・達成率を記入しています。それにより、達成度を表しています。

【達成度：達成率に対して、「◎」100以上、「○」99～80、「△」79～60、「×」60未満】

【評価：A 十分成果が上がっている、B 成果が見える、C 成果がみられるが、更なる取り組みを要する、D 改善を必要とする、E 抜本的見直しが必要】

評価は、達成度の状況を考え、教育委員会の自己評価、事務評価部会委員の総合評価を記入しています。

5 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：改善項目は、事業ごとに記入しています。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	1	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 各種テスト結果を基にした、個別最適化された指導の推進 ② 体験的参加型授業・体験活動の充実 ③ 日常的な体力づくりの充実 ④ 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の推進 ⑤ 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
前年度整理した課題	① 小学校は目標値を達成できているが、中学校は達成できていない。 ② ー ③ 家庭との連携 ④ ー ⑤ ー

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 各種テスト結果を基にした、個別最適化された指導の推進
◆ 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施及び分析
主要事業： ② 体験的参加型授業・体験活動の充実
◆ 体験的参加型授業・体験活動の実施
主要事業： ③ 日常的な体力づくりの充実
◆ 学校ごとに「体力向上一校一実践」を実行する。
主要事業： ④ 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の推進
◆ 久留島武彦副読本の活用
主要事業： ⑤ 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
◆ 栄養教諭招致授業の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 確認テストにおいて、目標値を超える学年数75%以上	%	75	全学年数136（1回目は1年生を除くため、全学年数31）年4回実施
① 玖珠町標準学力調査において、全学年、全教科において目標値を超える	教科数	27	小1～小3：2教科、小4：3教科、小5～小6：4教科 中1～中2：5教科 合計27教科
② 体験的参加型授業・体験活動の実施	校	7	全学校
③ 「運動が好き」の割合	%	小男92.4 小女85.9 中男88.9 中女77.3	R4体力・運動能力調査 全国値
④ 久留島武彦副読本を活用した授業の実施	校	6	全小学校（4年生）
⑤ 栄養教諭招致授業の実施	校	7	全小中学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 確認テストにおいて、目標値を超える学年数75%以上	%	75	80.9	107.9	◎	C	B
① 玖珠町標準学力調査において、全学年、全教科において目標値を超える	教科数	27	15	55.6	×		
② 体験的参加型授業・体験活動の実施	校	7	7	100	◎		
③ 「運動が好き」の割合	%	小男92.4 小女85.9 中男88.9 中女77.3	小男90.9 小女86.5 中男13.8 中女23.5	小男98.4 小女100.7 中男15.5 中女30.4	△		
④ 久留島武彦副読本を活用した授業の実施	校	6	6	100	◎		
⑤ 栄養教諭招致授業の実施	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 各種テスト結果を基にした、個別最適化された指導の推進</p> <p>標準学力調査では、小学校は目標値を達成しているが、中学校は教科により差もあるが昨年度に引き続き達成できていない。小学校でつけた基礎・基本の力を中学校で伸ばせるよう確認テストや標準学力調査の実施及び課題を検証し、学力の定着に向けさらに取り組み必要がある。</p>
<p>主要事業： ② 体験的参加型授業・体験活動の充実</p> <p>全国学力・学習状況調査質問項目で「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」との問いに、「ある」を含む肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校69.7%、中学校79.8%とそれぞれ昨年度値（小学校56.7%、中学校56.2%）を上回っている。地域の方々の協力による体験活動や体験的参加型授業をとおして地域を考える機会となっている。今後も継続して支援する。</p>
<p>主要事業： ③ 日常的な体力づくりの充実</p> <p>体力づくりとして、各学校で「1校1実践」の活動を行っている。活動に対して、小学校では肯定的な意見が多く「運動がすき」の割合に表れている。中学校では、目標値を大きく下回っている。成長期にある児童生徒には、適切な運動が必要不可欠であり、学校体育授業等のさらなる魅力化（質・量）に家庭や地域と協働して取り組む必要がある。</p>
<p>主要事業： ④ 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の推進</p> <p>全小学校で久留島武彦副読本を活用した授業を実施している。今年度は、八幡小学校で久留島武彦記念館館長による講話が行われ、同じ日の給食で久留島流すき焼きが提供された。郷土の先哲学習と食育を関連して行うことができた。今後も郷土の先哲学習を推進させていく。</p>
<p>主要事業： ⑤ 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実</p> <p>昨年度から引き続き、すべての学校で2～3回の栄養教諭招致授業を実施した。児童生徒の心身ともに健康な体づくりを目指し、年齢に応じた食に関する指導の充実を図る。</p>

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	1	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	2	特別支援教育の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 個別の指導計画の作成と活用の推進 ② 特別支援教育支援員の活用 ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
前年度整理した課題	① ー ② 支援員のスキルアップを図る。 ③ ー

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 個別の指導計画の作成と活用の推進
◆ 個別の指導計画の活用の推進
主要事業： ② 特別支援教育支援員の活用
◆ 特別支援教育支援員研修の実施
主要事業： ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
◆ インクルーシブ教育の推進

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 個別の指導計画に基づいた授業改善の実施と校内での還流	校	5	個別の指導計画作成が必要な児童生徒が在籍する小中学校
② 特別支援教育支援員研修の実施	回	2	年度初め、長期休暇
③ インクルーシブ教育推進校	校	5	特別支援学級が設置されている学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 個別の指導計画に基づいた授業改善の実施と校内での還流	校	5	5	100	◎	C	C
② 特別支援教育支援員研修の実施	回	2	1	50	×		
③ インクルーシブ教育推進校	校	5	5	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 個別の指導計画の作成と活用の推進
「個別の指導計画」については、必要な児童生徒全員分を作成している。「個別の指導計画」に基づき ◆ 校内で協議・研修をとおして授業改善を実施している。今後も個別最適な学びを提供するため、「個別の指導計画」の活用を推進していく。
主要事業： ② 特別支援教育支援員の活用

- ◆ 年2回研修実施を計画していたが、長期休暇中の日程調整ができず、3ヵ年続けて1回のみの実施となった。年度初めの研修実施は支援員間の情報交換が可能となり、児童生徒の支援に活かすことができた。来年度は年2回の研修を実施し、支援員のさらなるスキルアップを図りたい。

主要事業： ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）

- ◆ 特別支援学級が設置されている全学校において、支援学級に在籍する児童生徒は、それぞれの学年（学級）に席があり、いろいろな学校教育活動をとおして同じ場で共に学ぶ機会を持つことができた。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	3	不登校児童生徒の教育環境の整備		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① わかくさの広場と学校の連携によるサポート体制の強化 ② 個々に応じた新たな教育環境の調査研究
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① わかくさの広場と学校の連携によるサポート体制の強化
◆ 地域児童生徒支援コーディネーターの活用
主要事業： ② 個々に応じた新たな教育環境の調査研究
◆ 不登校児童生徒新規者の未然防止

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 小中連携会議等の定期的な開催	回	2	年間実施回数
② 玖珠町教育相談コーディネーター研修会の実施	回	3	学期に1回

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 小中連携会議等の定期的な開催	回	2	10	500	◎	C	C
② 玖珠町教育相談コーディネーター研修会の実施	回	3	0	0	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① わかくさの広場と学校の連携によるサポート体制の強化
◆ 定期的に開催されるわかさ研修会に地域児童生徒支援コーディネーターや教員が参加し、学校との情報共有と連携により不登校となることを未然に防ぐ取り組みに努めた。今後も引き続きサポート体制強化に取り組む。
主要事業： ② 個々に応じた新たな教育環境の調査研究
◆ 今年度、玖珠町教育相談コーディネーター研修会は実施できなかったが、学校に行きづらさを感じ、学校に行くことが難しい児童生徒のために「学びの多様化学校」の開校準備を行った。開校後は、個々の児童生徒に応じた指導方法・教育環境の調査研究を行っていく。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	4	地域とともにある学校づくりの推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 積極的な情報発信 ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進 ③ 地域学校協働本部（協育コーディネーター）との連携
前年度整理した課題	① 町報への情報提供 ② ー ③ ー

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 積極的な情報発信
◆ 学校ホームページの活用と町報への情報提供
主要事業： ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
◆ 地域人材によるゲストティーチャー授業の実施
主要事業： ③ 地域学校協働本部（協育コーディネーター）との連携
◆ 学校運営協議会への地域学校協働活動推進員の参画

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① ホームページの更新	校	7	学校ごとに月1回以上の更新
② ゲストティーチャーによる授業	校	7	全学校
③ 地域学校協働活動推進員の参画学校数	校	7	全学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① ホームページの更新	校	7	7	100	◎	A	A
② ゲストティーチャーによる授業	校	7	7	100	◎		
③ 地域学校協働活動推進員の参画学校数	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 積極的な情報発信
◆ 学校ごとにホームページの更新はできているが、更新回数に差がある。今後もホームページの活用など積極的な情報発信を促していく。
主要事業： ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
◆ ゲストティーチャーによる授業や学校行事への支援活動により、地域とともにある学校づくりの取り組みが定着してきている。今後も取り組みを進める。

主要事業： ③ 地域学校協働本部（協育コーディネーター）との連携

- すべての学校で、地域学校協働活動推進員が学校運営協議会委員として参画している。地域学校協働活動推進員は、学校行事や授業の補助などに支援ボランティアを活用するため、地域の方々と学校をつないでいる。今後も地域とともにある学校づくりを推進する。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	5	組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校内研修をはじめとする各校教職員間の効果的な研修(OJT)の充実 ② 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 校内研修をはじめとする各校教職員間の効果的な研修(OJT)の充実
◆ 人材育成の校内体制を作り、OJTの実施
主要事業： ② 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 玖珠町の文化・歴史を学ぶフィールドワークの実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 人材育成の校内体制を作り、OJTを実施した学校数	校	7	市町村学校組織力向上計画、市町村学力向上アクションプラン
② フィールドワークへの参加	%	90	新採用、玖珠町に初めて赴任した教職員を対象とした研修への参加

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 人材育成の校内体制を作り、OJTを実施した学校数	校	7	7	100	◎	B	A
② フィールドワークへの参加	%	90	89.5	99.4	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校内研修をはじめとする各校教職員間の効果的な研修(OJT)の充実
◆ 全ての学校で、経験年数の浅い教員の人材育成に向けた校内体制を構築し、OJTを実施した。また、授業力向上アドバイザーが授業改善だけでなく、児童生徒への理解や保護者対応など経験年数の浅い教員の困りや悩みを聞き、適切なアドバイスを行うなど精神的支柱となった。今後も教職員の資質向上に務める。
主要事業： ② 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 新採用教職員を中心に玖珠町を学ぶ機会としてフィールドワークを実施した。文化財担当職員による説明、現地見学により玖珠町の歴史や文化を学び、伐株山からの眺望を楽しむなど教職員同士の交流を図ることもできた。今後も玖珠町の歴史や文化を学ぶ機会を設けていきたい。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	6	学校における働き方改革の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① ICTを活用した日常における業務改善の取組 ② 部活動の地域移行の推進
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
◆ 時間外勤務時間の縮減
主要事業： ② 部活動の地域移行の推進
◆ 社会教育分野との連携

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 時間外勤務時間の縮減	%	10	前年度比10%の縮減
② 推進会議の開催	回	3	

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 時間外勤務時間の縮減	%	10	小△6.1 中 3.3	小△61 中 33	×	D	D
② 推進会議の開催	回	3	3	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
◆ 目標達成ができなかった。出退勤システム導入時期がコロナ禍であったこともあり、学校行事や授業が制限なく実施できる日常生活に戻った令和5年度を基準とし、ICTを活用した業務改善を図り、とりわけ校務DXをさらに推進していく。
主要事業： ② 部活動の地域移行の推進
◆ 推進会議の開催は目標値を達成したが、部活の地域移行については、受け皿となる団体がないなど地域的な課題が多く、進んでいない状況である。地域や関係団体の理解や協力を得ながら、継続して取り組む。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	7	学校間・校種間のきめ細やかな連携		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校種間連携組織の構築および日常的な情報共有体制の確立
前年度整理した課題	① 9年間を見通した指導体制の在り方

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 校種間連携組織の構築および日常的な情報共有体制の確立
◆ 学習指導など課題や認識の共有を図る取り組み

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 中学校教員の小学校1日研修の実施	名	5	市町村学校組織力向上計画
① 小6合同学習・体験授業	回	3	市町村学校組織力向上計画

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 中学校教員の小学校1日研修の実施	名	5	0	0	×	D	D
① 小6合同学習・体験授業	回	3	3	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校種間連携組織の構築および日常的な情報共有体制の確立
◆ 中学校教員の小学校1日研修は実施できなかったが、小6合同学習・体験授業は計画どおり実施できた。小小と小中の連携は、「中1ギャップ」の抑止や継続した学びのためにとっても重要であるため、今後とも積極的に取り組む。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班
中項目（方針）	8	地域の高校への支援と玖珠志学塾の充実		

1. 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	① 公営塾と学校との連携による進路の充実 ② 郡外等から就学する生徒への下宿助成
前年度整理した課題	① 塾からの進学実績を上げ、学校の定員充足率向上を目指す ② 定員の充足率が向上してきた中で、郡外からの生徒の確保をどのようにするのか。予算関係も含め課題が残る。

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 公営塾と学校との連携による進路の充実
◆ 玖珠美山高校生を対象とした「玖珠志学塾」を株式会社Birth47に委託し運営を行う
主要事業： ② 郡外等から就学する生徒への下宿助成
◆ 郡外から玖珠美山高へ進学しやすい環境を整えるため、町内での下宿を希望する生徒で、部活動や玖珠志学塾利用の者に助成を行う。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 塾からの進学実績	人	19	令和元年度国公立大学の進学実績18人を超える
② 制度の利用者数	人	9	各学年3名
共 玖珠美山高校定員	人	120	定員120人を目指す

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 塾からの進学実績	人	19	12	63.2	△	B	B
② 制度の利用者数	人	9	9	100	◎		
共 玖珠美山高校定員	人	120	118	98.3	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 公営塾と学校との連携による進路の充実
◆ 塾からの進学実績を上げ、学校の定員充足率向上を目指す。
主要事業： ② 郡外等から就学する生徒への下宿助成
◆ 定員の充足率が向上してきた中で、制度利用者が多くなることは、よいことなのか。予算関係も含め課題が残る。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	幼児教育推進班
中項目（方針）	9	就学前教育の質の向上と教育環境の整備		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 就学前教育と義務教育の虹いろの架け橋協議会における調査・審議 ② 幼小架け橋期カリキュラムの検討・開発 ③ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援
前年度整理した課題	① 引き続き協議会において、園と小学校の接続について調査・審議を行う ② 認定こども園等と連携しながら、保育の質の向上に努める ② 架け橋期カリキュラム作成に向け取り組む ③ 各園訪問や教育相談会等を通して、就学支援を行う

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 就学前教育と義務教育の虹いろの架け橋協議会における調査・審議
◆ 架け橋期のカリキュラムについての調査・審議
主要事業： ② 幼小架け橋期カリキュラムの検討・開発
◆ 認定こども園等と小学校が連携し、架け橋期のカリキュラムの作成
◆ 就学前教育研修会等の実施
主要事業： ③ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援
◆ 園訪問や教育相談会等を通しての就学支援

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 虹いろの架け橋協議会	回	8	実施回数（開発会議3回 作業部会5回）
② 特別支援教育研修会	回	1	研修会の内容についての充実
② 就学前教育研修会	%	90	研修内容充実度
② 5歳児交流会	回	1	実施回数
② 5歳児給食体験	園	7	各園が1～2回実施する（対象園7園）
③ 就学時健康診断と教育相談会	人	106	町内就学予定児の受診者数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 虹いろの架け橋協議会	回	8	8	100	◎	A	A
② 特別支援教育講演会	回	1	1	100	◎		
② 就学前教育研修会	%	90	100	100	◎		
② 5歳児交流会	回	1	1	100	◎		

② 5歳児給食体験	園	7	7	100	◎		
③ 就学時健康診断と教育相談会	人	106	104	98	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 就学前教育と義務教育の虹いろの架け橋協議会における調査・審議</p> <p>◆ 引き続き協議会（開発会議）を開催し、幼小の円滑な接続の推進に努める。</p>
<p>主要事業： ② 幼小架け橋期カリキュラムの検討・開発</p> <p>玖珠町架け橋期カリキュラム（5歳児～1年生）実施に向けた支援と充実に努める。</p> <p>◆ 作業部会で「つながりシート」を作成し、幼小のつながりを見える化する。 幼小研修会等を実施し、質の向上に努める。</p>
<p>主要事業： ③ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援</p> <p>◆ 各園訪問や教育相談会を実施し、就学支援を行う。</p>

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班 学務・指導班
中項目（方針）	10	安全・安心な学校づくり		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 危機管理マニュアルの見直しと研修（指） ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政） ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）
前年度整理した課題	① ー ② 施設の改修の他、安全教育等によるソフト面での解消を行い、関係機関と連携を強化し取組を行っていく。 ③ 限られた予算の中で、優先順位をつけて行わなければいけない。安全教育の徹底など、学校内での危険個所への取組も重要である。

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの見直しと研修（指）
◆ 避難確保計画に基づいた訓練の実施
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政）
◆ 通学路安全点検を実施し、改善箇所と改善対策とその改善対策と実施機関を明確にする
主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）
◆ 学校施設・環境の安全点検の実施と危険個所の解消

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 避難確保計画に基づいた訓練の実施	校	6	要配慮者施設に指定された学校（森幼稚園は休園）
② 点検による危険箇所の改善数	件	39	当該年度の危険箇所の改善・対応数
③ 校内安全点検による対策数	件	27	前年度からの対策箇所の数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 避難確保計画に基づいた訓練の実施	校	6	6	100	◎	A	A
② 点検による危険箇所の改善数	件	39	39	100	◎		
③ 校内安全点検による対策数	件	27	27	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの見直しと研修（指）
◆ 対象となっている各学校において計画に基づき避難訓練を実施した。訓練実施の結果、必要に応じて計画の見直しをすることとなっている。今後も継続的な訓練実施と、必要な計画の見直しを促していく。
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政）
◆ 道路の改修などは、予算の関係で緊急性の判断が必要であり、関係機関と連携を強化し取組みを行っていく。安全教育等によるソフト面での解消も継続して取組みを行う。

主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）

- ◆ 限られた予算の中で、施設が老朽化する中でも優先順位をつけて行わなければならない。安全教育の徹底など、学校内での危険箇所への取り組みも重要である。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	GIGAスクール 推進室
中項目（方針）	11	ICTを活用した教育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① ICTを活用した授業の充実 ② 児童生徒の情報活用能力の向上 ③ 家庭学習での通信端末の活用
前年度整理した課題	① - ② - ③ -

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① ICTを活用した授業の充実
◆ デジタル教材を利用した授業の実施
主要事業： ② 児童生徒の情報活用能力の向上
◆ 端末を活用した交流授業等の実施
主要事業： ③ 家庭学習での通信端末の活用
◆ 通信端末を使用した家庭学習やオンライン授業等の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① デジタル教材を利用した授業実施学校数	校	7	デジタル教材を利用した授業実施学校数
② 端末を利用した交流授業実施学校数	校	7	端末を利用した交流授業実施学校数
③ オンライン授業実施学校数	校	7	オンライン授業実施学校数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① デジタル教材を利用した授業実施学校数	校	7	7	100	◎	A	A
② 端末を利用した交流授業実施学校数	校	7	7	100	◎		
③ オンライン授業実施学校数	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① ICTを活用した授業の充実
◆ リーディングDX事業の指定校を中心に取り組みを行っている。ICTを活用するための基礎的な能力の育成を行い、児童生徒が自律的にICTを活用して学びあう姿を目指す。
主要事業： ② 児童生徒の情報活用能力の向上
◆ ジュニアICTリーダー事業により効果をあげている。今後も継続して取り組む。
主要事業： ③ 家庭学習での通信端末の活用
◆ 端末を持ち帰り、臨時休校時などオンライン授業等で活用できた。家庭学習での活用を推進していく。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	給食センター
中項目（方針）	12	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 郷土愛を育む地産地消の推進 ② 新鮮で安全・安心な食材確保 ③ 調理施設・設備・備品等の計画的な整備 ④ 調理業務の民間委託の調整
前年度整理した課題	① 「株未来の畑から」の農場長を講師に、トマトの栽培方法等について食育授業を行った。 ② 町内の企業から玖珠産の米や野菜、シイタケ、豆腐等を食材として活用した。 ③ 学校の牛乳保冷庫、洗浄室照明取替、浄化槽ブローワー修理、配送車購入を行った。 ④ 民間委託の県内の状況調査を行った。

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ 食育授業の開催
主要事業： ② 新鮮で安全・安心な食材確保
◆ 玖珠産野菜等の活用の拡大
主要事業： ③ 調理施設・設備・備品等の計画的な整備
◆ 老朽化した食缶用消毒保管機4台の購入
主要事業： ④ 調理業務の民間委託の調整
◆ 民間委託に関する資料作成及び予算確保

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 食育授業の開催数	校	6	全小学校
② 玖珠産野菜等の活用の拡大	千円	405	前年度購入額（405千円）以上の玖珠産食材の活用
③ 調理器具や設備の整備	台	4	老朽化した食缶用消毒保管機4台の購入
④ 民間委託に関する資料作成及び予算措置	%	100	仕様書・実施要領・選定委員会設置要綱・審査基準の作成及び予算措置

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 食育授業の開催数	校	6	2	33%	×	B	B
② 玖珠産野菜等の活用の拡大	千円	405	668	100%	◎		
③ 調理器具や設備の整備	台	4	4	100%	◎		
④ 民間委託に関する資料作成及び予算措置	%	100	80	80%	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ 食育授業の実施及び玖珠産の食材の活用を行った。今後も継続して取り組む。
主要事業： ② 新鮮で安全・安心な食材確保
◆ 新鮮で安全・安心な玖珠産の食材を活用を行った。今後も継続して取り組む。そのため予算が必要。
主要事業： ③ 調理施設・設備・備品等の計画的な整備
◆ 今年度は食缶消毒保管機を購入した。今後も計画的な整備に取り組む。
主要事業： ④ 調理業務の民間委託の調整
◆ 民間委託業務に係る仕様書等の作成及び予算措置（債務負担行為）を行った。今後は委託業者を選定しスムーズな業務の引継ぎに取り組む。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班
中項目（方針）	1	地域教育力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 主催講座の開催（公） ② 学校との連携・協働による「地域協働」向上事業（社） ③ 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
前年度整理した課題	① 各自治会館との共同により、公民館講座を実施し、地域に根差した講座を実施する。 ② この2年コロナ禍で活動ができていなかったが、回復傾向がみられる。地域人材の活用を目指す。 ② 学校での取り組みを町報に掲載し情報発信することで支援者を増やす。 ③ 受講生の年齢層等は徐々に広がっているが、更に、いろいろな年齢層の方が参加できる講座を実施する。

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 主催講座の開催（公）
◆ 4地区自治会館を会場とした「生きがい教室」を継続して開催することができた。
主要事業： ② 学校との連携・協働による「地域協働」向上事業（社）
◆ 学校の要望を受け、適切で的確な支援ができるように関係者間の調整を行った。
主要事業： ③ 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
◆ 子ども向け講座、一般向け講座、高齢者向け講座を実施できた。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 公民館主催講座（一般）（公）	講座	5	令和4年度講座数
① 公民館主催講座（子ども）（公）	講座	3	夏休み期間1回、秋冬に各1回
① 公民館主催講座（高齢者）（公）	講座	4	4地区の各自治会館で開催
② 支援者数（社）	延べ人数	1,000	令和4年度実績から120%を目指す
③ 公民館主催講座（一般）（公）	講座	5	令和4年度講座数
③ 公民館主催講座（子ども）（公）	講座	3	夏休み期間1回、秋冬に各1回
③ 夏休み学習ルーム	期間	1	夏休み期間1回

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 公民館主催講座（一般）（公）	講座	5	6	120	◎	B	B
① 公民館主催講座（子ども）（公）	講座	3	2	67	△		
① 公民館主催講座（高齢者）（公）	講座	4	4	100	◎		
② 支援者数（社）	延べ 人数	1,000	973	97.3	○		
③ 公民館主催講座（一般）（公）	講座	5	6	120	◎		
③ 公民館主催講座（子ども）（公）	講座	3	2	67	△		
③ 夏休み学習ルーム	期間	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 主催講座の開催（公）</p> <p>◆ 講座の内容は毎年、毎回検証する必要がある。これまで公民館を利用することがなかった町民へ向けても、一度以上は公民館を利用してもらえよう、従来にとらわれない多様な講座を計画する必要がある。</p>
<p>主要事業： ② 学校との連携・協働による「地域協働」向上事業（社）</p> <p>◆ 目標値には届かなかったが、活動数がコロナ禍以前に戻ってきたこともあり、支援者の増加となった。広報くすでの周知も3回実施することができた。支援者が減少しているチャレンジ教室があるため、今後も活動周知とあわせ、支援者の募集をしていく必要がある。</p>
<p>主要事業： ③ 世代に応じた各種学習活動の支援（公）</p> <p>◆ 高齢者向けの講座は定着しているが、子ども向け、一般向けの講座について内容を含めて充実を図る必要がある。夏休み期間中の平日に2階視聴覚室を「学習ルーム」として開放した。Wi-fiを使える環境であるため、自宅に学びの環境がない子どもたちへ知ってもらえるよう周知を広げていきたい。夏休み期間以外も休憩コーナーや図書室を学習の場として定着させていきたい。</p>

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	2	子どもと大人 家庭と地域での教育		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 青少年健全育成協議会への支援 ② 家庭教育に関する事業の実施
前年度整理した課題	① 7地区の健全育成協議会で連携を図りながら、継続した活動を取り組む（役員の意見交換会にて）。 ① 健全育成協議会7地区の課題を把握し、いつでも助言できる事務局体制を整える。 ② 家庭教育講演会の実施。参加が難しい家庭事情を考慮し、配信も視野に入れた開催方法を検討する。

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援
◆ 町青少年健全育成大会の実施
◆ 7地区の健全育成協議会への支援
◆ 家庭教育講演会の実施
主要事業： ② 家庭教育に関する事業の実施
◆ 各学校、PTA等との情報共有
◆ 家庭教育講演会の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町青少年健全育成推進大会参加者	人	210	令和元年度実施の大会参加者210人
① 7地区育成協役員会議数	回	2	各地区の取組み確認、意見交換会
① 「育成協だより」の発行数	回	2	各地区の特徴的な取り組み回、大会報告回
② 家庭教育講演会参加者	人	68	前年（令和4年度）の200%

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町青少年健全育成推進大会参加者	人	210	300	142.9	◎	B	B
① 7地区育成協役員会議数	回	2	2	100	◎		
① 「育成協だより」の発行数	回	2	1	50	×		
② 家庭教育講演会参加者	人	68	62	91	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援

青少年健全育成推進大会ではコロナ禍前の来場者数の水準を大きく上回ることができた。各地区育成協
◆ 役員会議については2回の開催だったが、各地区の問題、課題について議論を深めることができた。
「育成協だより」の発行については1回のみとなったが、全体的には良い取り組みができたと思う。

主要事業： ② 家庭教育に関する事業の実施

◆ 今年は家庭教育講演会を健全育成協議会と合同で行い、親子で参加できるよう、久留島武彦に因んだ講
演や紙芝居などを行い、多くの参加を呼びかけた。今後はPTA関係者に多く参加してもらえるよう内
容や、実施方法を工夫したい。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① スポーツ団体、サークル活動の充実 ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
前年度整理した課題	① スポーツ団体、サークル活動団体数の増 ② 誰でも参加しやすいスポーツイベントの開催

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① スポーツ団体、サークル活動の充実
◆ スポーツ団体、サークル活動に対する情報発信の充実
主要事業： ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
◆ リレーマラソンすこやかテニス祭町民スポーツ大会

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 魅力ある団活動の充実	団	8	少年団7＋総合型スポーツクラブ1
② 参加しやすいイベントの開催	人	1000	リレーマラソンすこやかテニス祭町民スポーツ大会

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 魅力ある団活動の充実	団	8	7	88	○	C	C
② 参加しやすいイベントの開催	人	1000	600	60	△		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① スポーツ団体、サークル活動の充実
◆ 団員数の減少により、スポーツ少年団組織の合併が進んでいる状況である。合併することにより少人数ではできなかった活動ができるようになった。総合型スポーツクラブにおいては微増ではあるが、会員数は増加傾向にある。
主要事業： ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
◆ リレーマラソンすこやかテニス祭町民スポーツ大会だけでは参加者は減少しているが、他のスポーツイベントにおいては増加している競技もある。近年では軽スポーツ人口がのびていることもあり、今後は軽スポーツをいかに多くの町民に広げていくかが課題である。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館
中項目（方針）	4	久留島武彦精神を継承する取組の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 日本童話祭の開催（社） ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社） ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ） ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久） ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久） ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久） ⑦ わらべサークル協議会への支援及び児童文化の担い手の育成（わ）
前年度整理した課題	コロナ前に近い童話祭行事に、オンライン配信を加えた。配信は予想を大きく上回る再生数だった。ウィズコロナ、アフターコロナの行事組み立ての参考になった。今後どのような行事をしていくべきかが課題。 ② 大会開始から10年を迎え、開催方法を再度検討する。 ③ 投句の質の向上 ④ — ⑤ — ⑥ — ⑦ 後継者を育成するために、各団体の活動内容を広報する

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 日本童話祭の開催（社）
◆ 4年ぶりの通常開催となり、大勢の人出でにぎわった。
主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社）
◆ 今年度は趣向を変えて音源審査のみとしたが、例年並みの応募者となった。
主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ）
◆ 俳句の講評集と手引書の配布
◆ 俳句出前授業の開催
主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久）
◆ 町内の小・中・高等学校を1校ずつ周り、作品の応募を呼びかけた。
◆ 受賞作品を冊子にまとめ、関係者や町内の学校に配布した。
主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久）
◆ 久留島武彦副読本を町内小学校新4年生及び玖珠町へ転入してきた教員へ配布した。
◆ 授業で記念館の見学及び館長による学校での特別授業を実施した。
主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）
◆ 久留島武彦新聞記事資料集【記者編】を制作した。
◆ 企画展やイベントの際、マスコミに積極的に発信し、多くのメディアに取り上げられた。

主要事業： ⑦ わらべサークル協議会への支援及び児童文化の担い手の育成（わ）
◆ わらべサークル協議会と共催で行事を企画運営する
◆ わらべサークル協議会結成40周年記念式典の開催と記念誌の作成

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 童話祭式参加者数（社）	名	417	令和元年度童話祭式参加者数
② 語りべ大会町内応募者数の増加（社）	名	6	令和4年度町内応募者数の200%
③ 俳句出前授業の開催（わ）	回	1	俳句教室
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	202	令和4年度の応募作品数
⑤ 副読本の活用（久）	部	161	小学4年生への配布
⑥ 館長による講演会（久）	回	13	令和4年度の館長による講演会回数
⑦ 共催行事の企画運営（わ）	回	2	主要行事：2（こどもフェス・新春こどもまつり）
⑦ 加盟団体記念誌作成（わ）	回	1	記念誌作成

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 童話祭式参加者数（社）	名	417	500	119.9	◎	A	A
② 語りべ大会町内応募者数の増加（社）	名	6	14	233.3	◎		
③ 俳句出前授業の開催（わ）	回	1	1	100	◎		
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	202	231	114	◎		
⑤ 副読本の活用（久）	部	161	148	90	○		
⑥ 館長による講演会（久）	回	13	15	115	◎		
⑦ 共催行事の企画運営（わ）	回	2	2	100	◎		
⑦ 加盟団体記念誌作成（わ）	回	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 日本童話祭の開催（社）
◆ 4年ぶりの通常開催となり、コロナ禍以前の童話祭式参加者を目指したところ、目標としていた令和元年度の参加者を超える結果となった。これには、パレードの参加者が多かったことが要因として考えられる。今後は、見直し可能な行事について検討が課題である。
主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社）
◆ 今年度は音源審査を行う前提で募集をしたが、応募者全体の人数は大きく変わらなかった。町内応募者数について見ると、「一般の部」が2名（昨年度1名）「小学生の部」が12名（昨年度2名）と増加しているが、これは音源審査の可否ではなく、募集のタイミングによるものと思われる。来年度以降は、開催時期についても検討していく必要がある。
主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ）
◆ 昨年度作製した俳句の教本となる講評集と手引書を大分県内全学校および全国の投句校へ配布。町内の学校へ俳句出前授業を開催。
◆ さらなる児童生徒の俳句文化の向上を目指す。
主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久）

◆ 町内の小中学生の応募が少ないため、学校を廻りながら応募を呼びかける。
◆ 公募ガイドなどの募集サイトを活用し、応募を呼びかける。
主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久）
◆ 副読本を活用しての学習により久留島武彦に対する知識は深まっている。
主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）
◆ これまで収集してきた新聞記事資料集をまとめる。
◆ 生誕150年であるため魅力ある企画展、多数のイベントを実施する。
主要事業： ⑦ わらべサークル協議会への支援及び児童文化の担い手の育成（わ）
◆ 今年度は、協議会結成40周年を迎えた。現状としては、団員の若返りや新規サークルの活動にはつながっていない。児童文化活動の魅力がうまく認知されていない現状もあるので、本年度作成した結成40周年記念誌をもとに、周知の取り組みをすすめるとともに、より魅力的な人材育成の取り組みを通して、児童文化の担い手を発掘・支援・育成していく必要がある。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館
中項目（方針）	5	文化の創造と振興		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 巡回音楽会の開催（社） ② 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公） ③ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久） ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久） ⑤ 自主文化芸術活動の支援（社）
前年度整理した課題	① 子どもたちに一流の芸術文化を鑑賞する機会を継続して実施する ② 各地区自治会館と連携し、所属団体へ参加できるよう呼びかけを行っていく。 ③ — ④ 来場者の満足度はとても高いが、興味の無い人や、玖珠町民に合ったPR方法を検討が必要である。（公） ⑤ 町美術展覧会は、実行主体の解散により今後の開催は見込めない。代わりに町民の自主文化活動の発表の機会を検討する。

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 巡回音楽会の開催（社）
◆ 中国伝統楽器「二十一弦古箏」と「二胡」のコンサートを実施した。
主要事業： ② 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公）
◆ 公民館や自治会館利用団体がそれぞれの活動の励みとなるような展示方法や集客方法を検討する。
主要事業： ③ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
◆ バラエティーに富んだ企画展を5回開催
主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）
◆ 限られた公演事業の集客が増える周知手段を実施する。（公）
主要事業： ⑤ 自主文化芸術活動の支援（社）
◆ 公民館と共に住民の芸術活動の発表の場を設定する。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 巡回音楽会公演数（社）	回	8	町内小中学校（7校）、玖珠美山高校
② フェスティバル来場者数（社）	人	500	716席×70%
③ 入館者数（久）	人	5,716	令和4年度の入館者数
④ 行事周知の手段（社）	件	4	広報くす、町ホームページ、アプリりんくす、防災無線
⑤ 展示会の実施（社）	回	1	年1回「玖珠町美術展覧会」が開催されていたため

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価

① 巡回音楽会公演数（社）	回	8	8	100	◎	A	A
② フェスティバル来場者数（社）	人	500	700	140	◎		
③ 入館者数（久）	人	5,716	5,166	90	○		
④ 行事周知の手段（社）	件	4	4	100	◎		
⑤ 展示会の実施（社）	回	1	2	200	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 巡回音楽会の開催（社）	
◆	今年度は開催時期にインフルエンザによる学級閉鎖等により、全ての児童生徒に鑑賞の機会を提供できなかったことが残念だった。子どもたちが一流の芸術文化を鑑賞する機会を創出するため、継続して実施していく。
主要事業： ② 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公）	
◆	公民館フェスティバルを公民館講座等の集大成として実施していく。これまでは舞台部門当日の来場者を目標指数として挙げていたが、展示部門の開催期間を長くしたことで多くの町民が芸術文化を楽しむことができた。また、今回初めて福祉団体の物販コーナーを設置したが好評であった。社会教育法20条に記載されている公民館の目的に沿って「住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する」を体現していく。
主要事業： ③ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）	
◆	生誕150年であるため魅力ある企画展の開催を行い、入館者数の増加を目指していく。
主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）	
◆	文化講演等の開催は予算が伴うため数多くは実施できていない。公民館フェスティバル等の町民が出品する作品展の展示期間を長くするなど開催の仕方を工夫していく。
主要事業： ⑤ 自主文化芸術活動の支援（社）	
◆	公民館フェスティバル展示部門と連携し、展示期間を長くすることで多くの来館者に触れてもらう機会となった。今後も継続して実施していく。また、玖珠町文化振興会が毎年行っている「くすまち文化祭」を教育委員会が共催としてバックアップする。今後は作品の募集、発表団体の募集など協力して行っていく。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	6	地域にある文化財の保存と活用の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 文化財保護（保存・活用）の推進 ② 国指定文化財の保存整備 ③ 各小中学校の郷土教育の支援
前年度整理した課題	① 伐株山城跡現地説明会の実施 ② 角牟礼城跡の本丸跡北側石垣の解体工事 ③ 旧久留島氏庭園の整備の計画、清水御茶屋の調査

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 文化財保護（保存・活用）の推進
◆ 伐株山城跡、童話碑の町指定文化財に向けた検討
主要事業： ② 国指定文化財の保存整備
◆ 角牟礼城跡本丸北側石垣の解体修復工事及び旧久留島氏庭園環境整備事業の実施
主要事業： ③ 各小中学校の郷土教育の支援
◆ 文化財に直接触れることができる体験メニューの実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 指定文化財の検討	%	100	文化財保護審議委員会での検討及び地元説明の実施
② 石垣工事及び環境整備事業	%	100	工事及び環境整備事業の進捗
③ 郷土教育の支援	回	5	出張講座の開催回数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 指定文化財の検討	%	100	50	50	×	B	B
② 石垣工事及び環境整備事業	%	100	100	100	◎		
③ 郷土教育の支援	回	5	12	240	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 文化財保護（保存・活用）の推進
◆ 童話碑を町指定文化財として認定する準備ができた。令和6年の第75回日本童話祭の式典の中で町指定文化財の認定式を行う予定。
主要事業： ② 国指定文化財の保存整備
◆ 角牟礼城跡本丸北側石垣解体修復工事の2期目が終了。また、旧久留島氏庭園整備基本計画に沿って、植栽整備（伐採、剪定）を行う

主要事業： ③ 各小中学校の郷土教育の支援

- ◆ 総合学習等で町内の小中学校に出向き、郷土の歴史や文化財について、延べ241人の児童・生徒へ授業を行う。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	公民館班 わらべの館
中項目（方針）	7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① わらべの館の図書の実充（わ） ② 中央公民館図書室の実充と利用者の拡大（公） ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ） ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ）
前年度整理した課題	① テーマ展示の見せ方の工夫 ② 新刊の増冊は、利用者増に必要な事だと分かった。限られている予算内で、新刊増になる手段を模索する。 ② 来館者が、図書室に興味をもち、利用してみたいくなる図書室の雰囲気づくりを更に行っていく。 ③ 図書館システムを導入をした。少しでも利用しやすい図書室づくりを進める。（公） ③ 図書システム導入後は、2館で何をすべきか、何をすることによりもっと利用しやすくなるか協議、実施していく。（公） ③ 双方の利便性を生かした図書サービス（わ） ④ 移動図書館車の活動を周知する

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① わらべの館の図書の実充（わ）
◆ 社会の流れや利用者ニーズに沿ったテーマ展示を行い、本の魅力を引き出す。
主要事業： ② 中央公民館図書室の実充と利用者の拡大（公）
◆ 施設を訪れる中高生の利用者が興味を持つような展示を行い貸出冊数増につなげる。
主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ）
◆ 中央公民館利用者へわらべの館の蔵書の貸し出しができる広報を行う。（公）
◆ 相互の図書サービスの連携を図る（わ）
主要事業： ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ）
◆ 移動図書館車の周知
◆ 周辺部を中心に新規ステーションの増

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① テーマ展示（わ）	回	24	月2回のテーマ展示
② 企画コーナーの設置（公）	回	2	取組み初年度のため半期に1度程度で反響を伺う
③ 広報くすへの掲載（公）	回	2	半期に1度程度の周知
③ 相互協力に向けた協議（わ）	式	1	中央公民館図書室との連携協議
④ 移動図書館車の周知（わ）	回	2	移動図書館車の活用
④ 新規ステーションの増（わ）	箇所	2	移動図書館車の活用

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① テーマ展示（わ）	回	24	33	130	◎	A	A
② 企画コーナーの設置（公）	回	2	3	150	◎		
③ 広報くすへの掲載（公）	回	2	2	100	◎		
③ 相互協力に向けた協議（わ）	式	1	1	100	◎		
④ 移動図書館車の周知（わ）	回	2	5	250	◎		
④ 新規ステーションの増（わ）	箇所	2	2	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① わらべの館の図書充実（わ）</p> <p>住民アンケート並びに利用者アンケートの結果を見ると図書室利用者の満足度は非常に高い。 ◆ 今後も、システムを共有する中央公民館図書室との連携を充実するとともに、県立図書館や県内図書館との相互協力を図り、利用者ニーズに積極的にこたえていく。</p>
<p>主要事業： ② 中央公民館図書室の充実と利用者の拡大（公）</p> <p>◆ 年に数回図書室内の様式替え（装飾）を行った程度にとどまり、積極的に仕掛けていく企画コーナーの設置には至らなかった。かなりの手間と時間がかかるので工夫が必要である。</p>
<p>主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ）</p> <p>◆ 各図書室の蔵書が借りられることから、本の移動（回送）が多く発生している。職員が直接届ける対応を取っているが、役割者を定めたい。図書の活用について更なる連携を深めていく。（公）</p> <p>◆ 中央公民館図書室のシステム化により、図書サービスの利便性が向上している。それぞれの特性を活かした利用しやすい図書室づくりを連携して進める。（わ）</p>
<p>主要事業： ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ）</p> <p>◆ 老人福祉施設や学校、こども園、放課後児童クラブなどの施設を中心に27のステーションを配置。住民アンケートでは移動図書館車の認知度は7割程度あるが、利用したいというニーズは約2割にとどまっている。今後ステーションを新設する運行スケジュールは限定されるが、僻地を中心に新たな読書ニーズの掘り起こしをしたい。</p>

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	1	学校教育における人権教育の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進 ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 人権教育に係る年間指導計画の作成及び実施
主要事業： ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
◆ 人権・部落差別解消推進指導員の活用

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 人権教育に係る年間指導計画の作成	校	7	全学校実施
② 人権・部落差別解消推進指導員による教職員研修の実施	校	7	全学校実施

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 人権教育に係る年間指導計画の作成	校	7	7	100	◎	A	A
② 人権・部落差別解消推進指導員による教職員研修の実施	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 各学校において人権教育にかかる年間指導計画を作成し、計画的に指導を行うことができた。人権啓発には継続した学びが大切であるため、今後も継続して取り組む。
主要事業： ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
◆ 各学校に人権・部落差別解消推進指導員を派遣し、教職員研修を実施した。「部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）」の理念（差別解消に向けた積極的な取り組みと教育・啓発の重要性）を実践していくため、今後も継続して研修を実施する。

令和6年度（令和5年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	2	あらゆる場における人権教育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 玖珠町人権公開講座の開催 ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載 ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
前年度整理した課題	① P T A、教員、町職員の研修として参加者の確保。 ② 小中学校の協力により継続していく。 ③ 人権啓発チラシの配布。

2. 令和5年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 玖珠町人権公開講座の開催
◆ わかりやすい内容となるために講師と十分な打ち合わせを行い、参加者の満足度を上げる。
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 年12回掲載。
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 人権啓発チラシの配布。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 受講者数の確保	人	329	令和4年度受講者人数
① 受講者の理解度	%	89.4	アンケートの「分かりやすい」、「まあまあ分かりやすい」の合計パーセンテージ（R4年度）
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12回（令和4年度）毎月掲載
③ 人権啓発チラシの配布	回	3	青少年健全育成大会、語りべ大会、家庭教育講演会

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(% b/a)	達成度	自己評価	総合評価
① 受講者数の確保	人	329	340	103	◎	A	B
① 受講者の理解度	%	89.4	94.1	105	◎		
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12	100	◎		
③ 人権啓発チラシの配布	回	3	1	33	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 玖珠町人権公開講座の開催
◆ 講師の選定にも力を入れた成果があり、町外からの参加も多く見受けられた。また、今年は参加者で話し合うワークショップ取り入れ、自分たちで考える場を提供できた。
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 町内のすべての小中学校から作文の提出があった。また、社会人からは人権公開講座に参加した受講者からの応募もあり、様々な観点からの人権問題を考える場を提供できた。今後も幅広い世代の作文が紹介できるよう取り組んでいきたい。

主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施

- ◆ 「『大分県部落差別等をあらゆる不当な差別の解消等に取り組む人権尊重社会づくり推進条例』をご存じですか？」のチラシを青少年健全育成推進大会で配布した。今後も啓発に努めていく。